



## 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、『スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド／日本アジア厳選投資』は、このたび、第7期の決算を行いました。

当ファンドは、主としてスパークス・日本アジア厳選投資マザーファンドを通じて、日本を含むアジア企業の株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。ここに、運用状況をご報告申し上げます。今後とも一層のご愛顧を賜りますよう、お願い申し上げます。

### < お問い合わせ先 >

スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
東京都港区港南一丁目2番70号 品川シーズンテラス  
リテール・ビジネス・デベロップメント部  
電話：03-6711-9200(代表)  
受付時間：営業日の9時～17時  
ホームページアドレス：<https://www.sparx.co.jp/>

当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順でご覧いただけます。なお、書面をご要望の場合は、販売会社までお問い合わせください。

### < 閲覧方法 >

上記URLにアクセス⇒「投資信託」より当ファンドを選択⇒「運用報告書(全体版)」を選択



見やすく読みまちがえにくいユニバーサル  
デザインフォントを採用しています。

# 交付運用報告書

## スパークス・新・国際優良 日本アジア株ファンド

愛称 日本アジア厳選投資 特化型

追加型投信／内外／株式

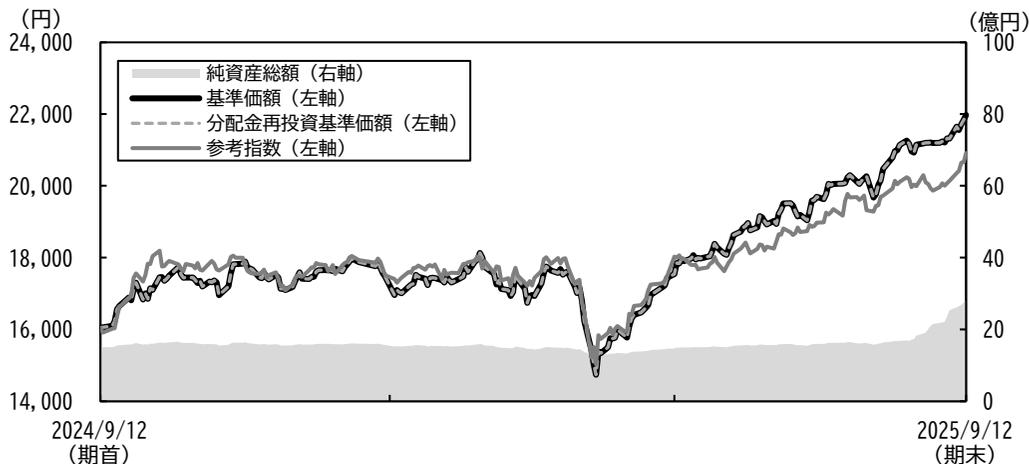
第7期(決算日 2025年9月12日)  
作成対象期間(2024年9月13日～2025年9月12日)

| 第7期末<br>(2025年9月12日)           |          |
|--------------------------------|----------|
| 基準価額                           | 21,976円  |
| 純資産総額                          | 2,833百万円 |
| 第7期<br>(2024年9月13日～2025年9月12日) |          |
| 騰落率                            | 37.0%    |
| 分配金合計                          | 0円       |

(注) 騰落率は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算しています。

## 運用経過

### ■ 基準価額等の推移 (2024年9月13日～2025年9月12日)



第7期首： 16,045円

第7期末： 21,976円(既払分配金0円)

騰落率： 37.0%(分配金再投資ベース)

- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 当ファンドにベンチマークはありません。参考指数は「MSCI AC Asia Index(円ベース)」です。
- ※ 参考指数は期首(2024年9月12日)の基準価額に合わせて指数化しております。

### ■ 基準価額の主な変動要因

当ファンドは、スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド(以下、マザーファンドといいます。)を通じて、日本を含むアジアの株式に投資しているため、個別銘柄の株価上昇が基準価額の上昇要因となりました。一方、個別銘柄の株価下落が基準価額の下落要因となりました。

■ 1万口当たりの費用明細

| 項 目                        | 当期<br>2024年9月13日～2025年9月12日 |                    | 項 目 の 概 要  |
|----------------------------|-----------------------------|--------------------|--|
|                            | 金 額                         | 比 率                |  |
| (a) 信 託 報 酬<br>(投 信 会 社)   | 366円<br>( 199)              | 2.027%<br>( 1.102) | (a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率<br>・ファンドの運用、開示書類等の作成、基準価額の算出等の対価<br>・購入後の情報提供、運用報告書等各种書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等の対価<br>・ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等の対価  |
| (販 売 会 社)                  | ( 159)                      | ( 0.881)           |  |
| (受 託 会 社)                  | ( 8)                        | ( 0.044)           |  |
| (b) 売 買 委 託 手 数 料<br>(株 式) | 214<br>( 214)               | 1.185<br>( 1.185)  | (b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数<br>・有価証券等を売買する際に発生する費用  |
| (c) 有 価 証 券 取 引 税<br>(株 式) | 67<br>( 67)                 | 0.371<br>( 0.371)  | (c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数<br>・有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金  |
| (d) そ の 他 費 用<br>(保 管 費 用) | 145<br>( 100)               | 0.804<br>( 0.554)  | (d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数<br>・海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用<br>・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用<br>・法定書類等の作成、印刷費用<br>・信託事務の処理等に関するその他の諸費用 |
| (監 査 費 用)                  | ( 1)                        | ( 0.006)           |  |
| (印 刷 費 用)                  | ( 9)                        | ( 0.050)           |  |
| (そ の 他)                    | ( 35)                       | ( 0.194)           |  |
| 合 計                        | 792                         | 4.387              |  |

期中の平均基準価額は18,055円です。

(注1) 期中の費用(消費税のかかるものは消費税を含む)は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当ファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

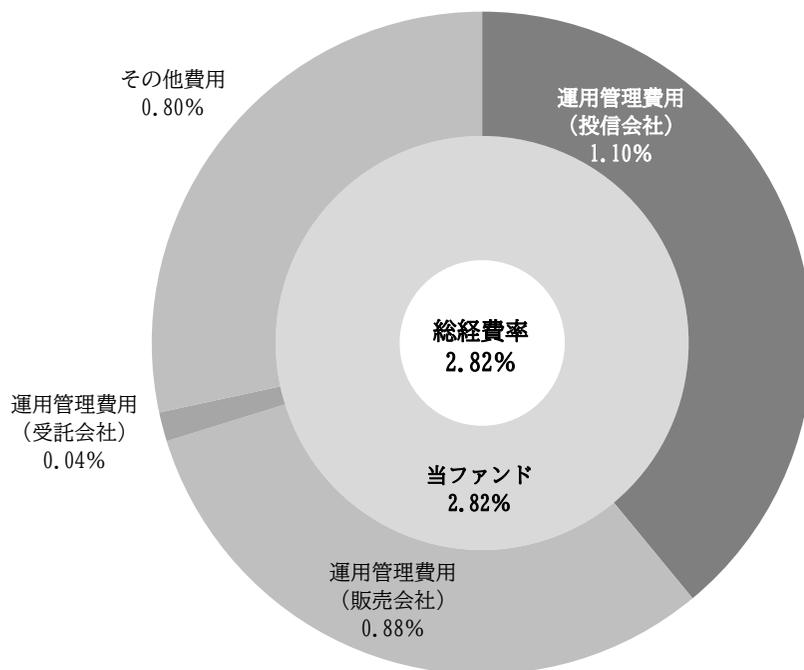
(注2) 各金額は各項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 各比率は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○ 総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.82%です。



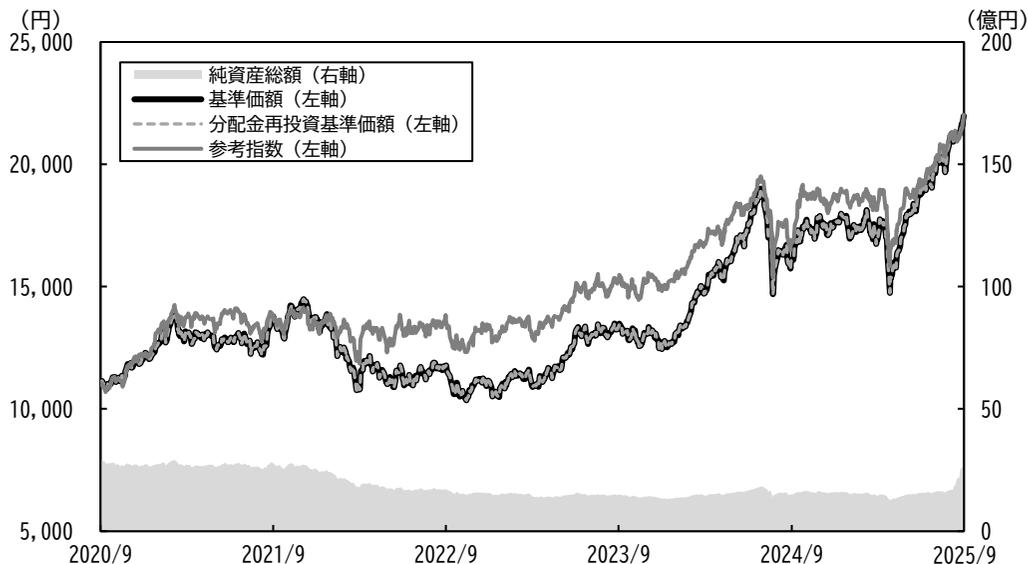
(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

■ 最近5年間の基準価額等の推移 (2020年9月14日～2025年9月12日)



- ※ 分配金再投資基準価額は、収益分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- ※ 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人のお客様の損益の状況を示すものではありません。
- ※ 参考指数は2020年9月14日の基準価額に合わせて指数化しております。

|                   | 2020年9月14日<br>決算日 | 2021年9月13日<br>決算日 | 2022年9月12日<br>決算日 | 2023年9月12日<br>決算日 | 2024年9月12日<br>決算日 | 2025年9月12日<br>決算日 |
|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|-------------------|
| 基準価額 (円)          | 11,024            | 13,775            | 11,718            | 13,298            | 16,045            | 21,976            |
| 期間分配金合計(税込み) (円)  | —                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 | 0                 |
| 分配金再投資基準価額騰落率 (%) | —                 | 25.0              | △14.9             | 13.5              | 20.7              | 37.0              |
| 参考指数騰落率 (%)       | —                 | 25.6              | △ 1.3             | 11.3              | 11.2              | 30.4              |
| 純資産総額 (百万円)       | 2,885             | 2,796             | 1,702             | 1,478             | 1,500             | 2,833             |

※ 参考指数は「MSCI AC Asia Index(円ベース)」です。  
参考指数の詳細は、最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

## ■ 投資環境

アジア市場は当期を通じ、大半の市場でおおむね上昇基調を維持しました。

中国・香港市場も大幅上昇に転じましたが、これは中国政府の追加的景気刺激策に対する期待感が高まったこと、規制リスクや地政学的リスクが従来の市場予想ほど高まらなかったことによるものです。

台湾市場と韓国市場は半導体産業が好調だったことから、堅調に推移しました。

韓国では政府が企業価値向上プログラムを推進していますが、これは企業経営陣に株主還元とコーポレートガバナンスの改善を促すことで、最終的に韓国企業の評価を向上させようというものです。

日本の株式市場は、日本経済の様相が変化したという認識が市場に広がったことで、引き続き堅調に推移しました。様相の変化とは、例えばコーポレートガバナンスの改革、インフレ率の上昇とその定着化などを指します。

インド市場は、バリュエーションが高水準にあること、企業の成長が鈍化してきたことを受け、大幅下落に転じました。

こうした環境下にあって、当ファンドは投資対象市場の大半で適正なりターンが得られたことから、絶対ベースでも相対ベースでも堅調なりターンを上げました。

## ■ ポートフォリオ

### <スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド>

当ファンドは、マザーファンドを通じて、日本を含むアジアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行いました。

当期のマザーファンドの組入比率は高水準を維持しました。このため基準価額は、マザーファンドに組み入れられた資産の変動の影響を大きく受けました。

### <スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド>

当マザーファンドにつきましては、以下の投資基準に出来るだけ合致する企業を、少なくとも3-5年程度の時間軸で評価し、長期的な観点で投資を行いました。

- ・ビジネスモデルがシンプルで理解しやすい
- ・本質的に安全なビジネス
- ・有利子負債が少ない強固なバランスシート
- ・高い参入障壁に守られたビジネス
- ・持続可能な高ROEとそれに見合う利益成長
- ・景気動向に左右されず潤沢なキャッシュフローを生み出している
- ・資本コストを理解し、最適資本配分ができる卓越した経営陣

### (主なプラス要因)

当期のパフォーマンスにプラスに寄与した主な銘柄は、Pop Mart International Group Limited(中国／一般消費財・サービス流通・小売り)や、Samyang Foods Co., Ltd(韓国／食品・飲料・タバコ)などです。

Pop Mart International Group Limitedは、LABUBU、MOLLY、CRYBABYといったIP(知的財産)を保有する中国の玩具会社です。LABUBUは世界的な人気を誇り、アジアだけでなく、米国や欧州でも注目の的で、同社の他のIPにとっても強力な成長の牽引力となっています。同社の売上高は2025年上半期に前年同期比200%以上、純利益は同360%以上増加しました。

Samyang Foods Co., Ltdは韓国の即席麺メーカーで、主要ブランドはブルダックです。ブルダックはスープのない即席麺の中でもかなり辛い方の部類に入ります。ソーシャルメディア上で効果的なマーケティングを展開したこと、独特なスパイシー風味で人々を虜にしたことで、世界的人気を博しています。さらに、米国や欧州市場では、麺類はスープのないものの方が一般的です。同社の売上高と純利益は2025年上半期にいずれも前年同期比で30%以上増加しました。

### (主なマイナス要因)

当期のパフォーマンスにマイナスに影響した主な銘柄は、Varun Beverages Ltd.(インド／食品・飲料・タバコ)や、Indian Hotels Co. Ltd.(インド／消費者サービス)などです。

Varun Beverages Ltd.はインドの飲料会社です。インドにおけるペプシの大手製造販売事業者で、同国ではペプシの販売量の大半を占めています。インドにおける炭酸飲料の普及率は他の新興国に比べて低水準に留まっており、成長余地はまだ十分にあります。しかし、より積極的に新規参入してくる企業があること、さらに株価が割高な水準にあったことから、投資判断の見直しが進み、アンダーパフォームしました。同銘柄は既に売却済みです。

Indian Hotels Co. Ltd.はインド最大の国内ホテル運営会社です。インドのブランドホテルの客室普及率は他の新興国に比べて著しく低水準に留まっており、成長余地はまだ十分にあります。しかし株価が割高な水準にある上、インドでは景気の減速がみられます。同社は業績が引き続き堅調であるにもかかわらず、株価がアンダーパフォームしました。同銘柄は既に売却済みです。

## ■ ベンチマークとの差異

- ※ 当ファンドはベンチマークを設けておりません。  
右記のグラフは当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率との対比です。
- ※ 参考指数は、「MSCI AC Asia Index(円ベース)」です。

当ファンドの基準価額と参考指数の対比(期別騰落率)  
(%)



第7期  
(2024年9月13日～2025年9月12日)

(注) 基準価額の騰落率は、分配金込みです。

## ■ 分配金

当期の分配金につきましては、基準価額水準、市況動向等を勘案して見送らせていただきました。留保益につきましては、信託財産中に留保し、当ファンドの基本方針及び今後の運用方針に基づき運用させていただきます。

### 〔 分配原資の内訳 〕

(単位：円 1万口当たり・税込み)

| 項目                 | 第7期<br>(2024年9月13日～<br>2025年9月12日) |
|--------------------|------------------------------------|
| 当期分配金<br>(対基準価額比率) | —<br>( —%)                         |
| 当期の収益              | —                                  |
| 当期の収益以外            | —                                  |
| 翌期繰越分配対象額          | 11,976                             |

(注1) 円未満は切捨てており、当期の収益と当期の収益以外の合計が当期分配金(税込み)に合致しない場合があります。

(注2) 該当欄に数値がない場合は「—」、小数点以下のみの数値の場合は「0」にて表示します。

(注3) 当期分配金の「対基準価額比率」は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

## 今後の運用方針

### <スパークス・新・国際優良日本アジア株ファンド>

マザーファンドを通じて、日本を含むアジアの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長を目指して積極的な運用を行います。

### <スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド>

当ファンドの目的は、主として成長性が高く、割安なバリュエーションで取引されている優良企業群の保有を通じて、魅力的な長期リスク調整後リターンを上げることにあります。

また投資の好機というのは稀にしか到来しないものであることから、到来した場合に備えてポートフォリオの規模を大きめに保っておく方針で、そうした手法を採用することで、中長期的に市場をアウトパフォームできると考えています。

当ファンドは優良銘柄の長期保有を基本スタンスとしています。

ただし、以下の事由が発生した場合には、銘柄の入れ替えを行う方針です。

- ・ 既存保有銘柄が実態価値を大幅に上回って値上がりした場合
- ・ 既存保有銘柄のビジネスが構造的な価値毀損に見舞われた場合
- ・ 当初見積もった企業の実態価値の評価が誤っていると判断された場合、また当該企業が明確に説明できず、当ファンドの側でも明確に理解できない重大なリスク要因が存在する場合も、リスク軽減措置として売却を行う予定
- ・ より魅力的な新規銘柄を発掘した場合

当ファンドは今後も外部環境の変化に関わりなく成長を続けることができる可能性の高い企業を中心に、ポートフォリオを運用してまいります。

今後とも引き続きご愛顧を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

## お知らせ

2025年4月1日付で以下のとおり投資信託約款の変更をいたしました。

- ・ 投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に伴い、当ファンドの投資信託約款に所要の変更を行いました。

2023年11月に「投資信託及び投資法人に関する法律」の一部改正が行われ、交付運用報告書については書面交付を原則としていた規定が変更されました。本件により、デジタル化の推進を通じて顧客の利便性向上を図るとともに、ペーパーレス化による地球環境の保全など、サステナビリティへの貢献に繋がるものと捉えております。今後も顧客本位の業務運営を確保しつつ、電磁的方法での情報提供を進めてまいります。

## 当ファンドの概要

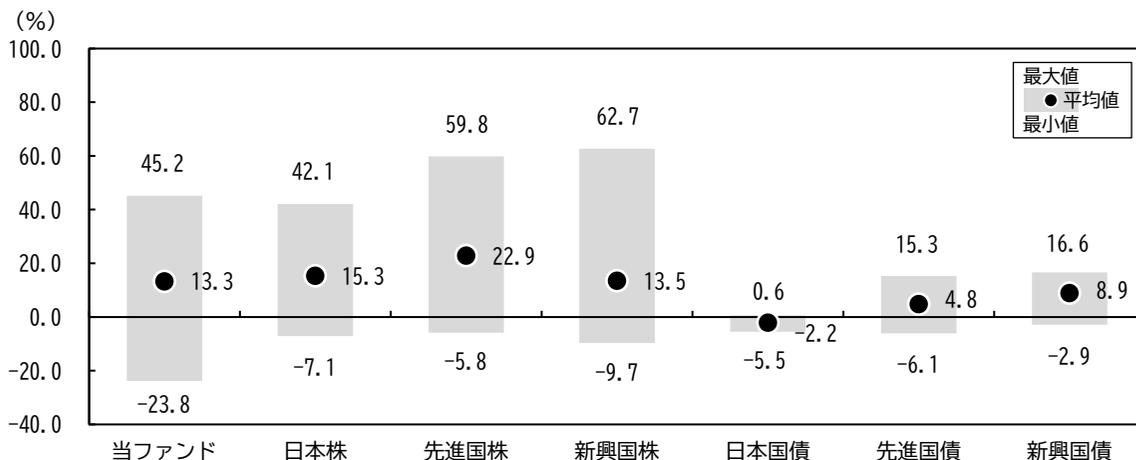
|            |  |   |
|------------|--|---|
| 商品分類       | 追加型投信／内外／株式  |   |
| 信託期間       | 無期限（2018年10月31日設定）   |   |
| 運用方針       | この投資信託は、信託財産の中長期的な成長を目指して、積極的な運用を行うことを基本とします。  |   |
| 主要投資対象     | 当ファンド  | スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。                                  |
|            | スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド   | 日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）を主要投資対象とします。 |
| 当ファンドの運用方法 | <p>① 主として、スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド（以下「マザーファンド」といいます。）受益証券を通じて、日本を含むアジア企業の株式または日本を含むアジア地域の金融商品取引所に上場している株式（これに準ずるものを含みます。）に投資を行います。</p> <p>② マザーファンド受益証券の組入比率は、高位を保つことを原則とします。</p> <p>③ マザーファンド受益証券を通じて、株式のほか、株式に関連する資産として、投資信託証券、転換社債ならびに転換社債型新株予約権付社債、DR（預託証券）、新株引受権証券および新株予約権証券、ならびに株価もしくは株価指数に価格が連動する証券等に対して実質的に投資する場合があります。（これらの株式関連資産を、株式と併せて「株式等」といいます。）</p> |   |
| 分配方針       | <p>毎決算時に、原則として以下の方針に基づき、分配を行います。</p> <p>(1) 分配対象額の範囲<br/>経費控除後の繰越分を含めた利子・配当収入および売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。</p> <p>(2) 分配対象収益についての分配方針<br/>分配金額は、委託会社が基準価額水準、市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合等には、分配を行わないこともあります。</p> <p>(3) 留保益の運用方針<br/>留保益の運用については、特に制限を設けず、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。</p>  |   |

※ 当ファンドは、一般社団法人投資信託協会「投資信託等の運用に関する規則 信用リスク集中回避のための投資制限の例外」を適用して特化型運用を行います。そのため、一般のファンドにおいては、一の者に係るエクスポージャーの投資信託財産の純資産総額に対する比率として10%を上限として運用を行うところを、当ファンドにおいては35%を上限として運用を行います。

※ 当ファンドは、ベンチマーク等を意識せず、弊社独自の調査活動を通じて厳選した少数の投資銘柄群に絞り込んで集中投資することとしているため、個別銘柄への投資において、当ファンドの純資産総額に対して実質的に10%を超えて集中投資することが想定されています。そのため、集中投資を行った投資銘柄において経営破綻や経営・財務状況の悪化などが生じた場合には、大きな損失が発生することがあります。

(参考情報)

■ ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較 (2020年9月末～2025年8月末)



(注1) 2020年9月～2025年8月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注2) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注3) 当ファンドは税引前の分配金を再投資したものとみなして計算した年間騰落率が記載されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。

(注4) 上記の騰落率は直近月末から60ヶ月遡った算出結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

※ 各資産クラスの指数

日本株・・・東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

先進国株・・・MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

新興国株・・・MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

日本国債・・・NOMURA-BPI国債

先進国債・・・FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

新興国債・・・FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

\* 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しています。

\* 詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

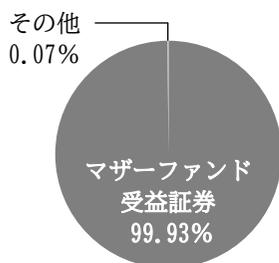
## 当ファンドのデータ

### ■ 組入資産の内容 (2025年9月12日現在)

#### < 組入ファンド >

| ファンド名                  | 第7期末   |
|------------------------|--------|
| スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド | 99.93% |
| 組入銘柄数                  | 1ファンド  |

#### < 資産別配分 >



#### < 国別配分 >



#### < 通貨別配分 >



※ 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

### ■ 純資産等

| 項 目        | 第7期末<br>2025年9月12日 |
|------------|--------------------|
| 純資産総額      | 2,833,664,430円     |
| 受益権総口数     | 1,289,410,047口     |
| 1万口当たり基準価額 | 21,976円            |

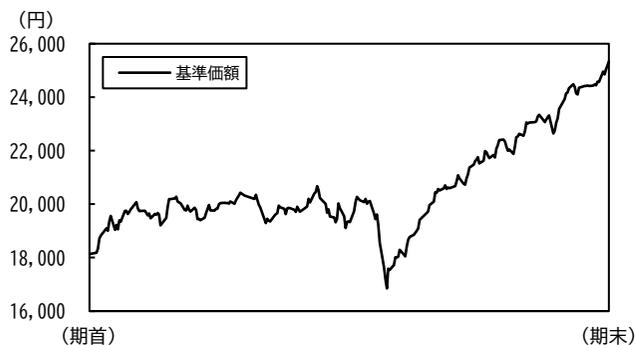
(注) 当期中における追加設定元本額は535,998,022円、同解約元本額は181,709,789円です。

■ 組入上位ファンド（銘柄）の内容

【スパークス・日本アジア厳選投資マザーファンド】（2025年9月12日現在）

< 基準価額の推移 >

（2024年9月13日～2025年9月12日）



< 1万口当たりの費用明細 >

| 項 目                                   | 当期<br>2024年9月13日～<br>2025年9月12日 |                             |
|---------------------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
|                                       | 金 額                             | 比 率                         |
| (a) 売買委託手数料<br>(株 式)                  | 244円<br>( 244)                  | 1.183%<br>(1.183)           |
| (b) 有価証券取引税<br>(株 式)                  | 76<br>( 76)                     | 0.369<br>(0.369)            |
| (c) そ の 他 費 用<br>(保 管 費 用)<br>(そ の 他) | 154<br>( 114)<br>( 40)          | 0.747<br>(0.553)<br>(0.194) |
| 合 計                                   | 474                             | 2.299                       |
| 期中の平均基準価額は20,618円です。                  |                                 |                             |

< 組入上位10銘柄 >

|       | 銘 柄 名  | 通 貨    | 比率(%) |
|-------|--|--------|-------|
| 1     | Taiwan Semiconductor Manufacturing Co., Ltd. | 新台湾ドル  | 7.65  |
| 2     | Tencent Holdings Ltd                         | 香港ドル   | 4.12  |
| 3     | ソフトバンクグループ                                   | 日本円    | 3.41  |
| 4     | Zijin Mining Group Co., Ltd. Class H         | 香港ドル   | 2.86  |
| 5     | Hon Hai Precision Industry Co., Ltd.         | 新台湾ドル  | 2.65  |
| 6     | 三菱UFJフィナンシャル・グループ                            | 日本円    | 2.64  |
| 7     | オリックス  | 日本円    | 2.62  |
| 8     | Futu Holdings Ltd. Sponsored ADR Class A     | アメリカドル | 2.58  |
| 9     | Huaming Power Equipment Co., Ltd. Class A    | 中国元    | 2.57  |
| 10    | Samyang Foods Co., Ltd                       | 韓国ウォン  | 2.54  |
| 組入銘柄数 |  | 41銘柄   |       |

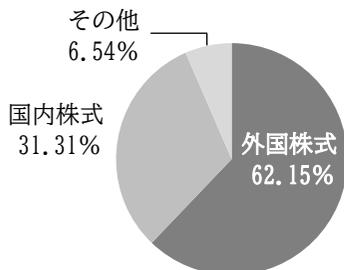
※ 組入全銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載されています。

(注1) 1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。2ページ(1万口当たりの費用明細)の項目の概要および注記をご参照ください。

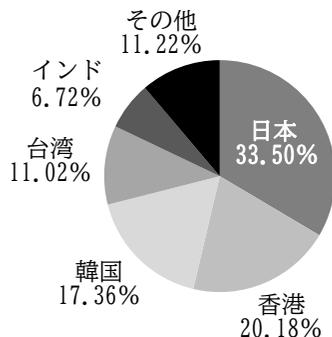
(注2) 基準価額の推移、組入上位銘柄のデータは2025年9月12日現在のものです。

(注3) 各々の表にある比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、それぞれの項目を四捨五入しています。

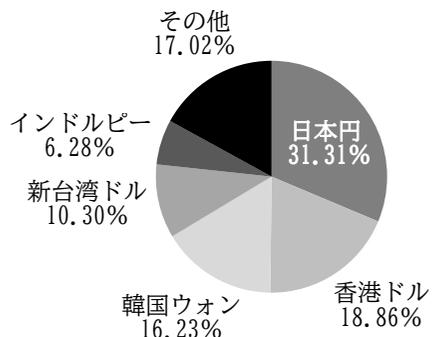
< 資産別配分 >



< 国別配分 >



< 通貨別配分 >



(注1) 資産別・国別・通貨別のデータは2025年9月12日現在のものです。国別配分は、発行国または投資国を表示しています。  
 (注2) 資産別・通貨別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合で、国別配分比率はポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

## 指数に関して

### < ファンドの参考指数について >

MSCI AC Asia Indexは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、アジア地域の先進国と新興国の大型・中型株で構成されています。また、MSCI AC Asia Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

### < 代表的な資産クラスにおける各資産クラスの指数 >

#### 日本株：東証株価指数(TOPIX)(配当込み)

東証株価指数(TOPIX)は、日本の株式市場を広範に網羅するとともに、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。TOPIXは、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社(以下「J P X」といいます。)の知的財産であり、J P XはTOPIXの算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有しています。

#### 先進国株：MSCIコクサイ・インデックス(配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。また、MSCIコクサイ・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス(配当込み、円換算ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。また、MSCIエマージング・マーケット・インデックスに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

#### 日本国債：NOMURA－BPI国債

NOMURA－BPI国債は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社(以下「NFRC」といいます。)が公表している指数で、NOMURA－BPI国債に関する著作権、商標権、知的財産権その他一切の権利は、NFRCおよびその許諾者に帰属します。NFRCは、ファンドの運用成果等に関し、一切責任ありません。

#### 先進国債：FTSE世界国債インデックス(除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

#### 新興国債：FTSE新興国市場国債インデックス(円ベース)

FTSE新興国市場国債インデックスは、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。

※ 上記指数はファクトセットより取得しています。